

TOKYOink

東京インキ株式会社

東証スタンダード市場

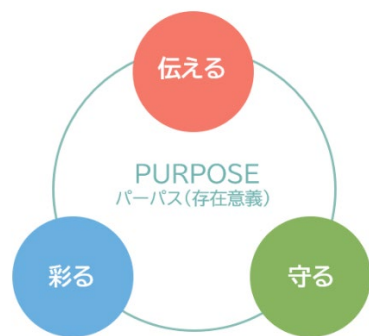
証券コード：4635

日本経済新聞社、日本取引所グループ主催

第20回 日経・東証IRフェア 2025

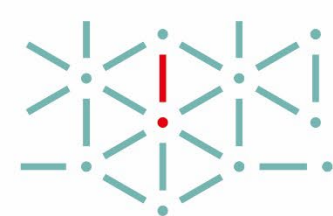
2025年9月26日、27日 東京ビッグサイト

(当社ブース：039)



「伝える」
「彩る」
「守る」ことで、
豊かな未来を実現する





本日お伝えしたいこと

TOKYOink

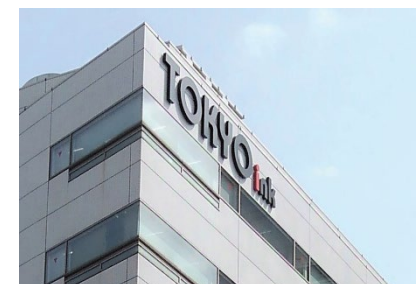
1. 会社・事業概要
2. 当社の現状と企業価値向上に向けた戦略
3. 株主還元
4. 最後に

参考情報



本日はご来場頂き、誠にありがとうございます

会社名	東京インキ株式会社
代表取締役	堀川 聡（ほりかわ さとし）
上場区分（証券コード）	東京証券取引所スタンダード市場（4635）
設立	1923年（大正12年）12月
資本金	32億4,612万円
総資産（※）	508億3,251万円
本社所在地	東京都北区王子1-12-4 TIC王子ビル
従業員数（※）	【連結】675人 / 【単体】541人
事業内容	インキ事業／化成品事業／加工品事業／不動産賃貸事業



堀川 聡

代表取締役社長



Our Purpose

「伝える」「彩る」「守る」ことで、
豊かな未来を実現する

伝える

人と人をつなぎ、「伝える」ことで、
これからも暮らしに貢献していきます

彩る

身の回りを「彩る」ことで、
これからも我々の生活を豊かにしていきます

守る

地球や我々の生活を「守る」ことで、
これからの社会に貢献していきます

インキ事業

地球環境に配慮した高機能、高品質な印刷インキ等を提供

主な製品・分類

オフセットインキ

グラビアインキ

インクジェットインク

製品形状

インキ

雑誌印刷

主な用途

食品包装印刷

建材印刷



化成品事業

さまざまな生活シーンで活用されているプラスチック部品、製品に機能を付与する各種高機能製品を提供

主な製品・分類

マスターバッチ

コンパウンド

製品形状

主な用途：プラスチック製品

マスターバッチ・コンパウンド

自動車内外装部品

シャンプー・化粧品ボトル

食品包装フィルム



加工品事業

特徴ある加工技術を駆使した産業用途の包装資材、工業・農業資材、土木・環境資材を提供

主な製品・分類

ネトロン®

一軸延伸フィルム

土木資材

農業資材

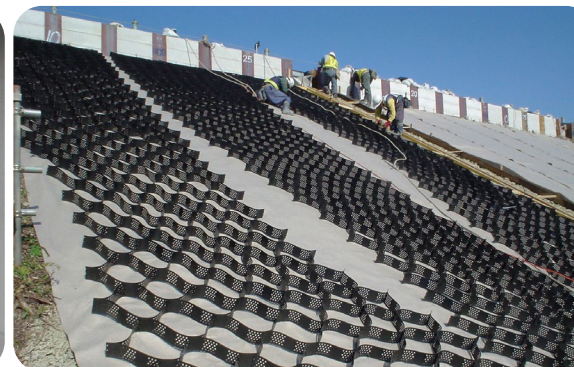
主な用途

食品包装（ネット）

食品包装（フィルム）

土木資材：ジオセル工法

農業資材：エナジーキーパー



2031年3月期 サステナブル対応製品売上高比率 50%を目指す (2025年3月期実績 24%)



伝える



彩る



守る

「伝える」「彩る」「守る」製品の提供を通じたサステナブル対応

サステナブル対応製品を「環境負荷低減製品」「社会貢献製品」の2軸に分け、広く社会に貢献することを目指します

環境負荷低減製品

ライフサイクルアセスメントの考え方に基づき、
原材料における省資源化、製造過程での省エネ、
環境負荷の軽減を目的として開発された製品

バイオマス材料の活用

リサイクル・生分解・モノマテリアル

省エネ・省力化の推進

社会貢献製品

安全で住みやすい社会の実現のため、
防災、水資源確保、農業の発展、
感染症対策といった視点から、
製品に高い機能性を付与して開発された製品

自然災害対策

暮らしの安心・安全

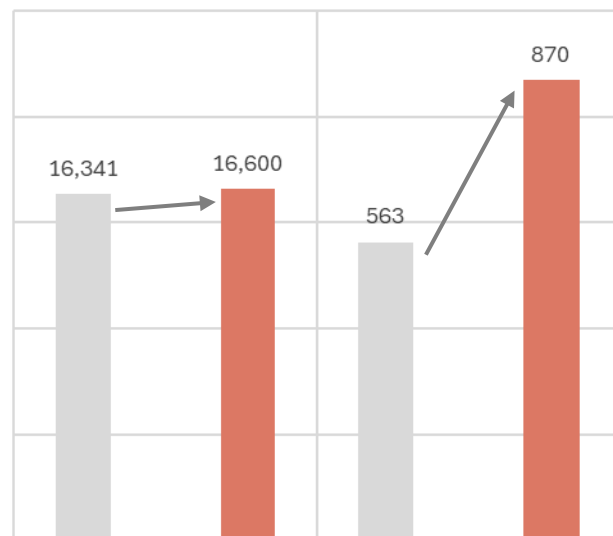
各種機能性

（５）事業別経営目標

2028年3月期 高付加価値品への製品ポートフォリオのシフト・高効率化による収益性の向上へ

インキ事業

（単位）百万円



売上高

セグメント利益

■ 25年3月期

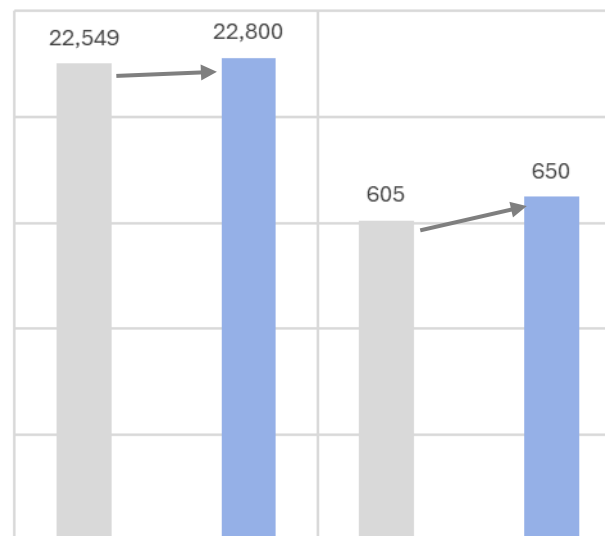
■ 28年3月期

2028年3月期目標 2025年3月期実績対比

売上高 : **102%**セグメント利益 : **154%**

化成品事業

（単位）百万円



売上高

セグメント利益

■ 25年3月期

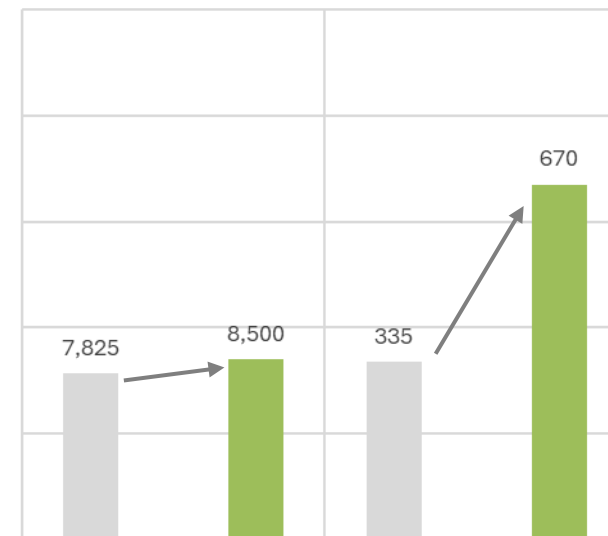
■ 28年3月期

2028年3月期目標 2025年3月期実績対比

売上高 : **101%**セグメント利益 : **107%**

加工品事業

（単位）百万円



売上高

セグメント利益

■ 25年3月期

■ 28年3月期

2028年3月期目標 2025年3月期実績対比

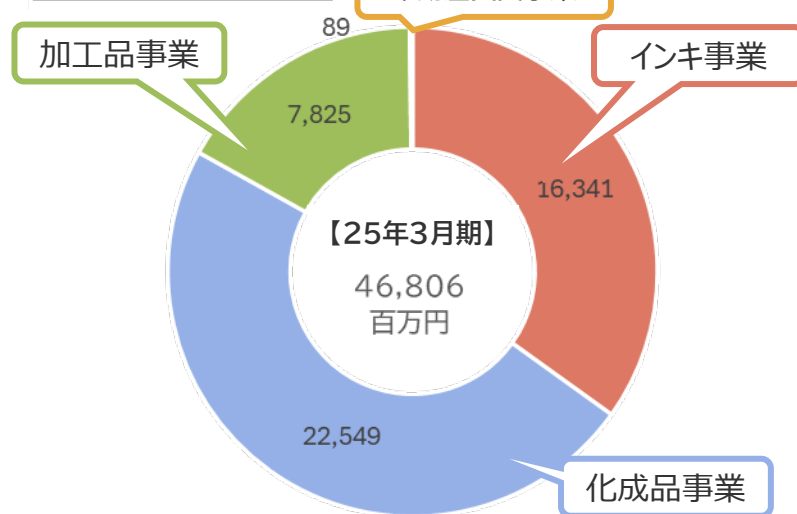
売上高 : **109%**セグメント利益 : **200%**

(6) 事業ポートフォリオの見直し

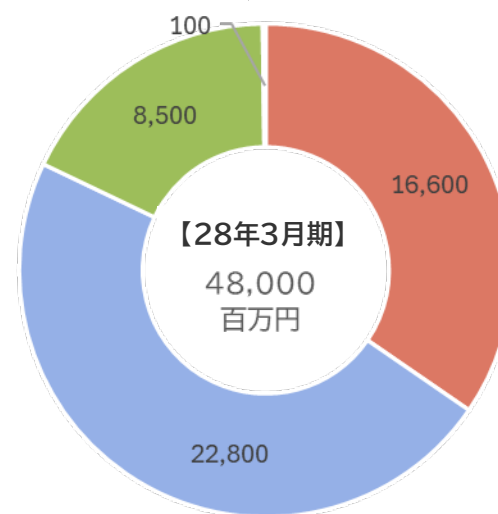
2031年3月期 既存事業の市場環境に合わせた利益の最大化・新規事業の創出へ

売上高

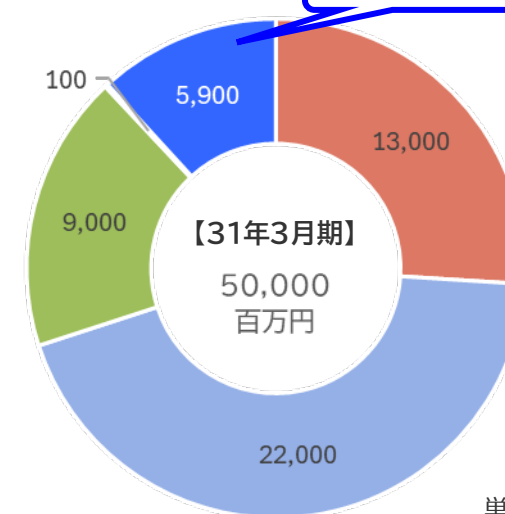
TOKYOink 2024



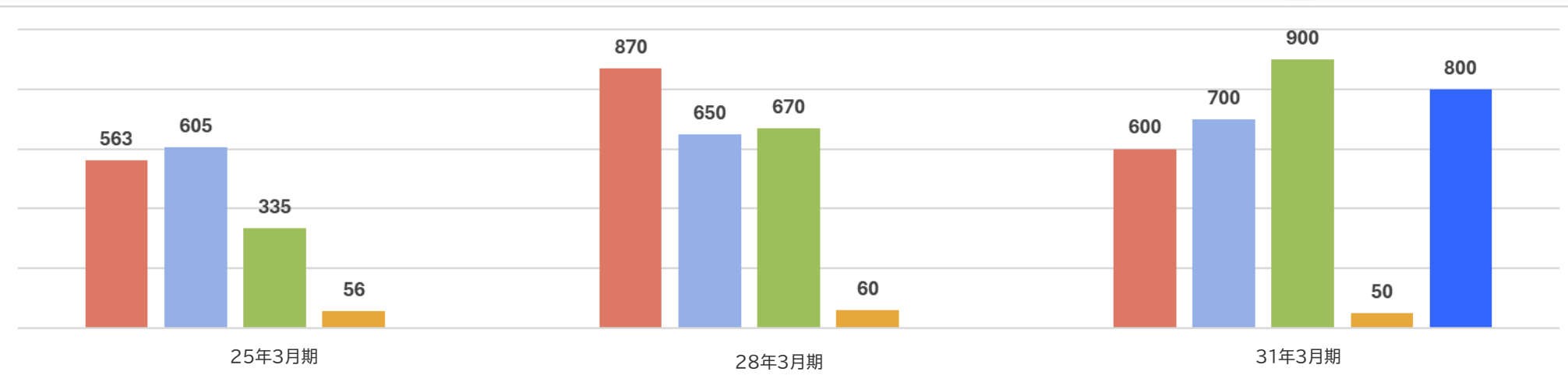
TOKYOink 2027



TOKYOink 2030



単位：百万円

セグメント
利益

(7) 今後の注力分野

インキ事業

【製品】
グラビアインキ

【分類】
機能性インキ・コート剤：食品包装用途
医薬包装用途製品

【効果】
食と薬の安全の向上



化成品事業

【製品】
機能性添加剤マスターバッチ

【分類】
機能性包材用途製品：食品包装用途

【効果】
食の安全の向上



加工品事業

【製品】
土木資材

【分類】
ジオセル工法：防災・減災用途

【効果】
軽くて強いインフラの整備



長期ビジョン TOKYOink Vision 2030

当社グループは2023年12月に創立100周年を迎えたタイミングで2030年を目指す姿である長期ビジョン「TOKYOink Vision 2030」を策定しました。策定にあたり、現在の地球環境や人々のライフスタイルの変化等、厳しい外部環境の中で、当社グループは何のために存在するのかについて問い直しました。主要事業であるインキ事業、化成品事業、加工品事業を通して、「伝える」製品、「彩る」製品、「守る」製品を提供し続けることで、豊かな未来の実現に貢献することが当社グループの存在意義です。2030年に持続可能な価値を提供し続ける企業グループに成長するため取り組みを進めていきます。

収益計画 ▶ P.13

事業別戦略 ▶ P.15

資本政策・財務戦略 ▶ P.17・P.53

サステナビリティ ▶ P.18

DX・知財戦略 ▶ P.18

TOKYOink 2027

～ 変革の実践 ～

既存領域において、製品の絞り込み、高付加価値製品開発、成長分野への投資拡大、省力化・自動化による業務効率化等により事業ポートフォリオの変革を実践し、収益拡大を図ります。また、新たな価値創造に向け、「事業ポートフォリオ戦略推進室」を中心に、R&D強化やM&A検討等に取り組めます。

財務目標

売上高 **480** 億円 営業利益 **20** 億円 ROE **5.5** %

TOKYOink 2024

～ 飛躍への準備 ～

2024年度は現中計最終年度になりますが、計画策定当初に比べ、当社グループを取り巻く環境は想定以上に変化していることから目標達成は難しい状況になっています。収益改善に向けた飛躍への準備として、既存領域の変革に着手し、新規領域への進出に向けた専門部署「事業ポートフォリオ戦略推進室」を新設しました。

財務実績

売上高 **468** 億円 営業利益 **13** 億円 ROE **4.0** %

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造の戦略

ガバナンス

会社情報

TOKYOink Vision 2030

持続可能な価値を提供し続ける企業グループへ

～ 新たな価値の創出 ～

既存領域の変革に加え、周辺領域分野をターゲットとしたM&A等の実行による第4の事業の確立およびR&D強化による既存・周辺領域に寄与する材料開発により、新たな価値を創造することで、持続可能な価値を提供し続ける企業グループへ成長することを目指します。

財務目標

売上高 **500** 億円 営業利益 **28** 億円 ROE **8.0** %

非財務目標

- サステナブル対応製品比率の向上
- GHG排出量削減
- パーパスとバリューの浸透
- エンゲージメントスコアの向上

長期ビジョン達成に向けた主な施策

資本政策

- 政策保有株式の縮減
- 債権流動化、キャッシュ・コンバージョン・サイクル(CCC)の改善／不要な資産の圧縮
- 自己資本比率の最適化
- 株主還元の充実(配当政策・自社株買い)

成長戦略

- 事業ポートフォリオ変革(既存・新規)

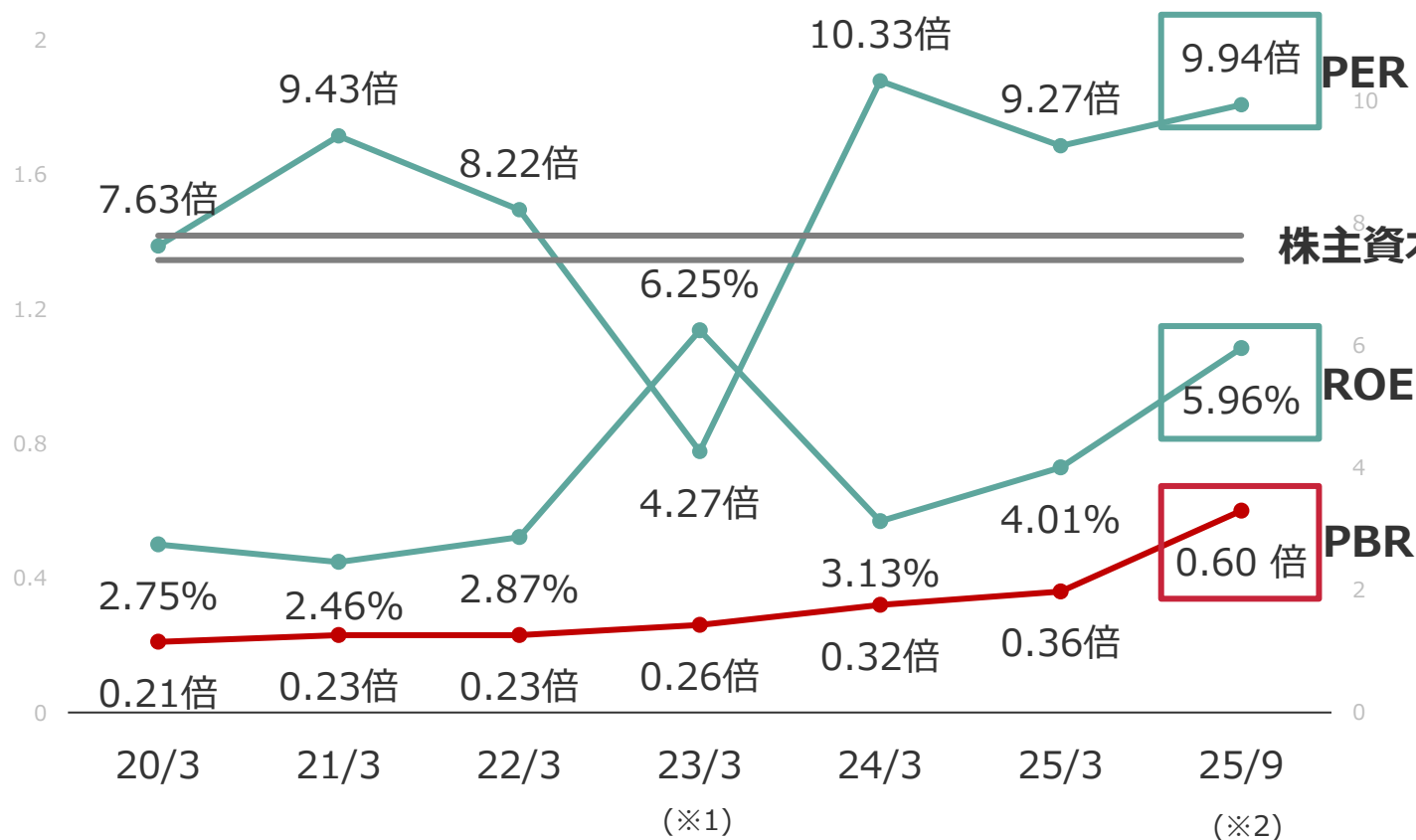
非財務施策

- コーポレート・ガバナンス体制の強化
- サステナビリティ経営の推進
- IR活動の強化を通じた企業価値向上
- 事業リスク低減

※「東京インキグループ 2025 統合報告書」より抜粋

(1) 当社の現状

ROE・PER・PBRの推移



ROE

・株主資本コストを下回る状況

PER

・市場平均より低い水準で推移
⇒将来への成長期待が大きい

PBR

・直近で向上傾向にはあるが、未だ1倍割れの状況で推移

(※1) 23年3月期は45億円の営業外収益（米国連結子会社TPIC出資分配金）計上

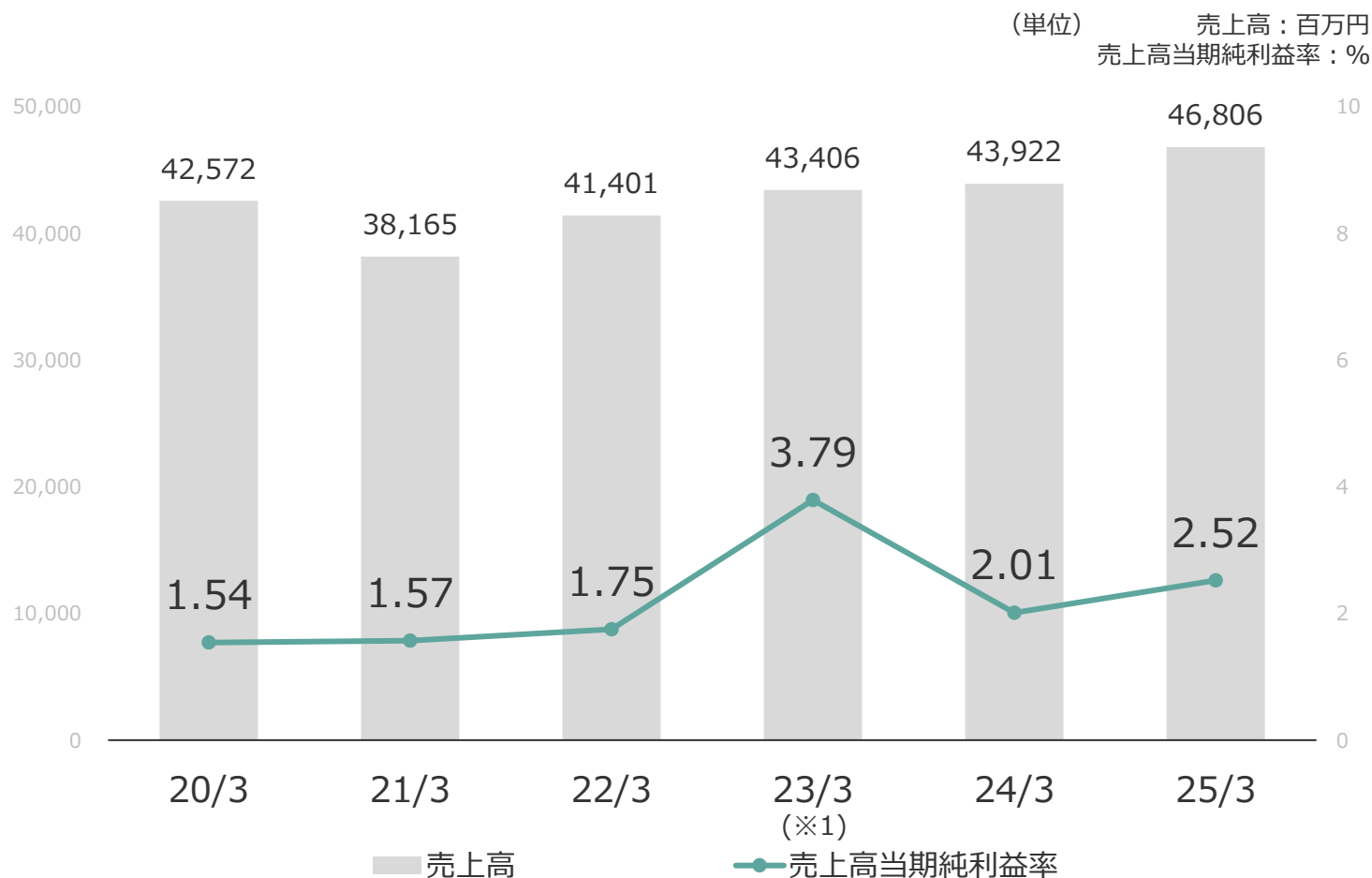
(※2) ROE：26年3月期通期業績予想の当期純利益÷平均自己資本（期首および予想期末自己資本）

PBR：株価（25年9月8日終値）÷一株当たり純資産（26年3月期1Q）

PER：株価（25年9月8日終値）÷一株当たり当期純利益（26年3月期通期業績予想）

(1) 当社の現状

売上高当期純利益率 の推移

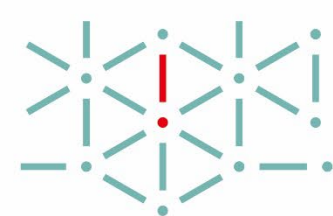


売上高当期純利益率

- ・約2.5%（2025年3月期時点）
- ・既存事業の低収益体質が主因

利益率の改善が喫緊の課題と認識

(※1) 23年3月期は45億円の営業外収益（米国連結子会社TPIC出資分配金）計上



(2) ROE8.0%以上達成に向けた事業・財務戦略

利益率を改善し、投資家の皆様に当社の将来への成長を理解いただき、期待を高めていただくことで、継続的に企業価値を向上させてまいります

【 企業価値向上に向けた各種戦略 】

資本政策・財務戦略	成長戦略	非財務施策
・株主資本の活用を最大化（BSマネジメント） ・強固な財務基盤の確保 ・株主還元の充実（配当政策・自己株式取得） 等	・事業ポートフォリオ変革（既存・新規） - 事業別戦略（インキ、化成品、加工品） - 新規事業創出	・ESG・サステナブル経営の推進 ・IR活動の強化を通じたエンゲージメントの向上 等

各種戦略の具体的な取り組みについては、25年8月28日開示「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（アップデート）」資料に掲載

成長と変革の成果を株主の皆様と共有するため、積極的に株主還元を進めてまいります

【 配当金・自己株式取得 】

2026年3月期の年間配当予想

210円/株※

2025年2月～5月 自己株式取得

4.9億円

・配当性向40%以上

・またはDOE1.0%以上

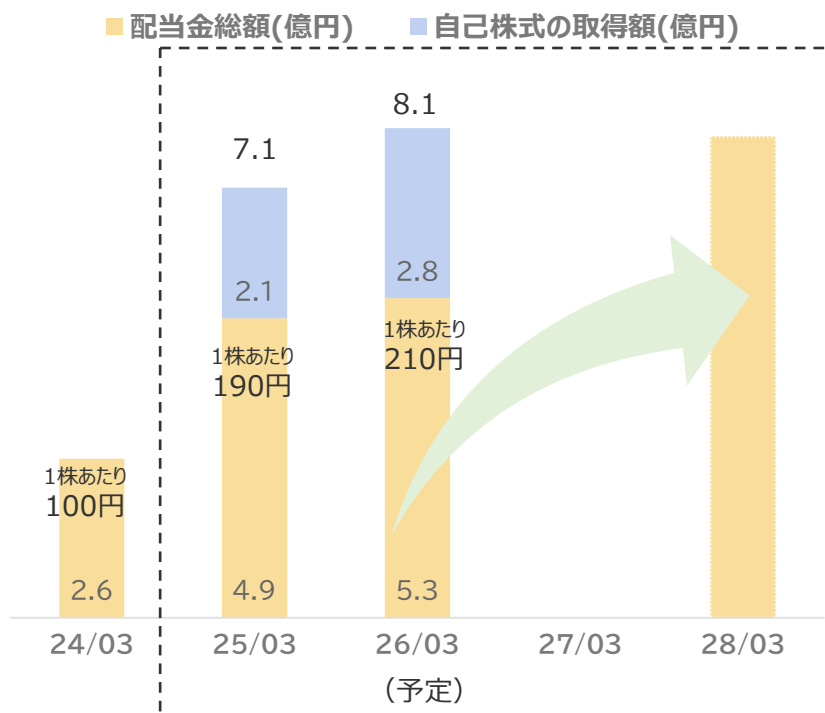
・連続増配（前年比+20円）

・機動的な自己株式取得の実施

・更なる追加取得も検討中

※1株あたり配当金は株式分割前換算の金額となります。

2025年3月期～2028年3月期
株主還元額：30億円



(2) 株式分割と株主優待制度

株式分割の実施と優待制度の実質的な拡充

【 株式分割 】

分割割合
5 分割

分割基準日：2025年12月31日（水）
効力発生日：2026年 1月 1日（木）

【 株主優待制度 】

ご優待の内容		株式分割前
対象株主様 (基準日：毎年3月31日)	100株以上保有	オリジナルクオカード1,000円分
	300株以上かつ 3年以上保有※	オリジナルクオカード2,000円分

※3年前から当年までのすべての基準日において、株主番号が継続して同一の株主様

(参考) 最低売買金額※	株式分割前
	669,000円 (100株 × 6,690円)

株式分割後（5分割）

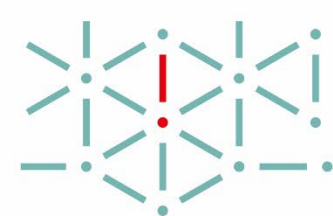
1,000円相当の株主優待品※

2,000円相当の株主優待品※

※クオカードもしくはそれに類するものを検討中
(株主様に利用しやすいことを考慮)

株式分割後（5分割）

133,800円
(100株 × 1,338円)



4. 最後に

本日のご説明を通じて皆様にお伝えしたいメッセージは3つ

1

「身近な包装と、見えないインフラを強くするBtoB素材メーカー」です

2

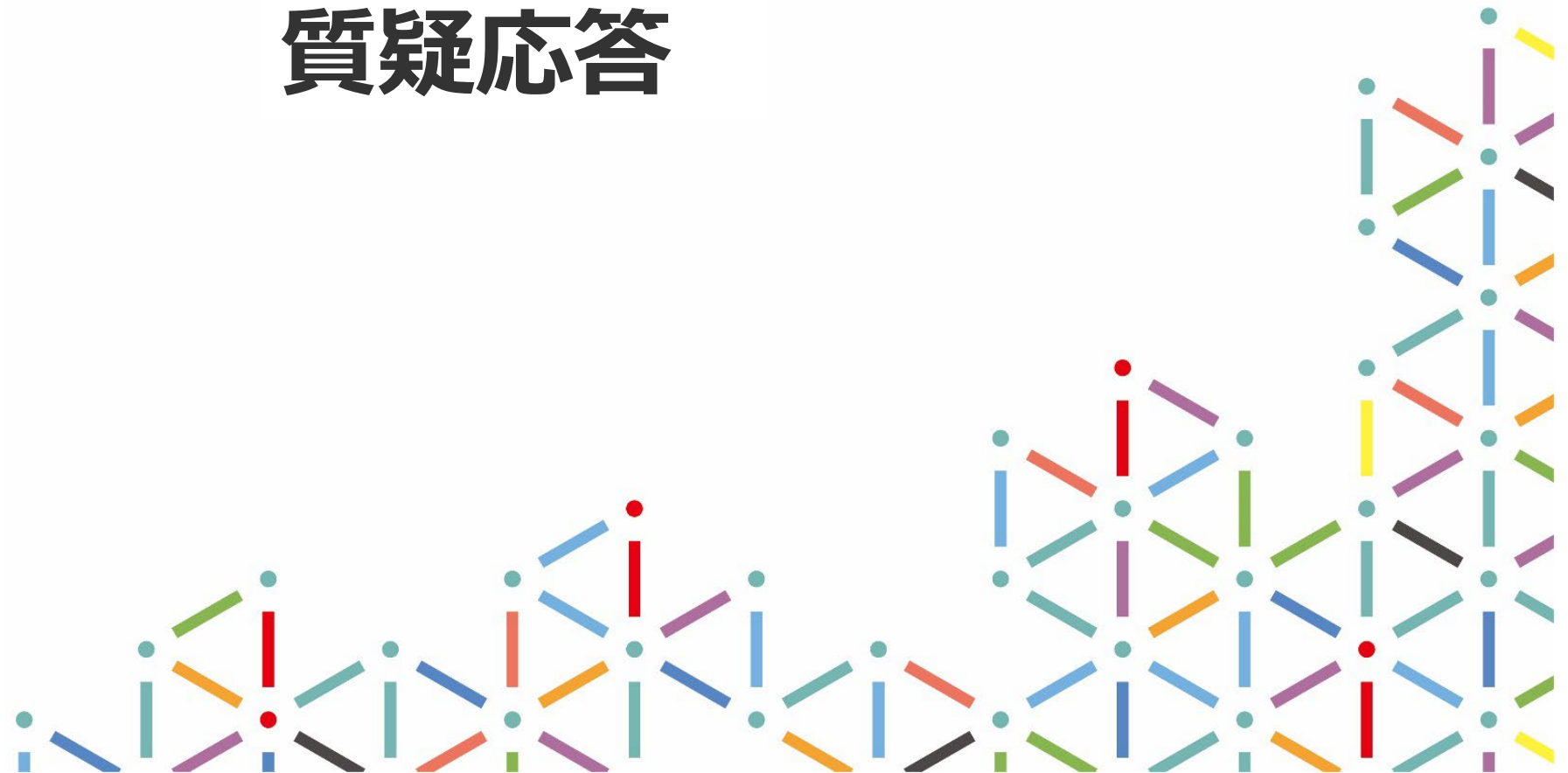
高付加価値品へのシフト・高効率化により企業価値を高めるための
変革を進めております

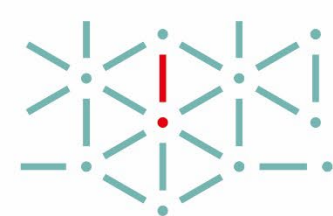
3

積極的に株主還元を進めております

質疑応答

TOKYOink





アンケート回答ご協力をお願い

TOKYOink

所要時間 1～2分程度

本日は、「第20回 日経・東証IRフェア 2025」当社ブースにご来場頂き、誠にありがとうございます。
弊社の今後のIR活動の参考とさせて頂くため、来場者様の率直なご意見をお伺いしたく、
アンケートを実施させていただきます。

下記二次元バーコードの読み込み、または資料に同封のアンケート用紙に記載いただき、
アンケートにご回答頂けますと幸いです。

二次元バーコード



アンケート用紙（資料に同封）

または



<https://forms.office.com/r/gZg8qQH9wz>

参考情報



販売拠点

本社
名古屋支店
大阪支店
福岡支店
札幌営業所
仙台営業所
新潟営業所
広島営業所
高松営業所

工場

羽生工場
吉野原工場
土岐工場
大阪工場
福岡工場

羽生工場



土岐工場



大阪工場



吉野原工場



連結 子会社

国内

林インキ製造株式会社
荒川塗料工業株式会社
英泉ケミカル株式会社
ハヤシ化成工業株式会社
トーイン加工株式会社
東洋整機樹脂加工株式会社

海外

東京インキ株式会社U.S.A.
東京インキ（タイ）株式会社
東京油墨貿易（上海）有限公司

東京インキ(タイ)



福岡工場

福岡支店

大阪支店

名古屋支店

本社

事業内ポートフォリオ変革により利益拡大を目指す

強み

オフセットインキ

- 良品質かつ安価なカスタマイズ品の提案力
- 大手中堅印刷会社との強固な信頼関係

グラビアインキ

- 高品質なカスタマイズ品の提案力

インクジェットインク

- 顧客要求を満たす技術力と対応力
- 競合がいない市場での販売戦略

■事業環境

オフセットインキ

印刷物のデジタル化に伴うペーパーレスの進展や、小ロット・短納期化によるPOD方式等への移行により、市場縮小傾向が継続

グラビアインキ

フードロス削減に貢献できる高機能食品包装用途や医薬品包装用途等は堅調に推移

インクジェットインク

印刷物の小ロット化、短納期化に対応できるPOD方式の世界市場は今後も拡大が継続

戦略

オフセットインキ
オフセット輪転インキ
その他

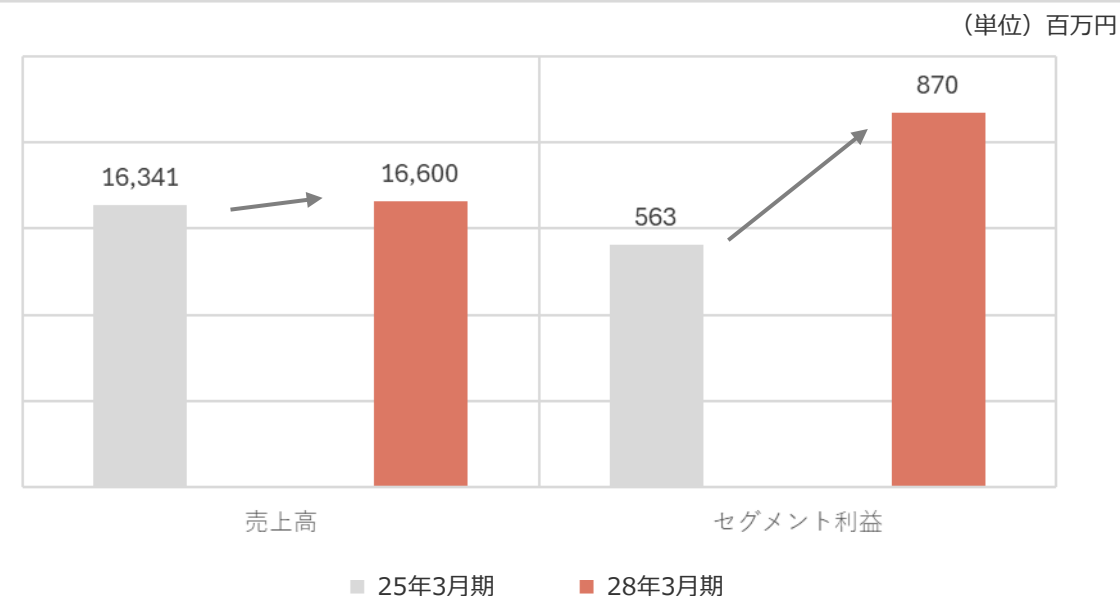
選択と集中による利益の最大化

グラビアインキ
機能性製品・汎用製品・
医薬包装製品

機能性製品を軸とした事業規模
の拡大

インクジェットインク
受託製品・自社製品

受託・自社製品両輪での利益拡大



「食と薬の安全を支える」 機能性インキ・コート剤と医薬包装製品を中心に事業規模拡大を目指す

- 機能性インキ・コート剤 差別化されたサステナブル対応製品の開発を進め、売上・収益性向上
- 医薬包装製品 新たに獲得した事業による増収・増益
- 汎用インキ 堅調な包装市場において、重要顧客との取り組みを強化し、業界内シェアアップへ

課題と施策

- 食品包装用途における顧客ニーズに対応するため、機能性インキ・コート剤の開発体制を強化、取り組みを加速させる
- 業界内シェアアップに向け、包材設計可能なコンバーター（加工業者）への提案を強化する
- 製品の品質維持・向上に向け、子会社も含めた生産体制の最適化を進める



自社製品の販売強化とASEAN地域での販売促進により収益力改善を目指す

強み

戦略

化成品事業

- 顧客の新規要望に応える営業力と技術力
- 高品質かつ短納期に応える生産体制と技術力

自社製品
マスターバッチ
コンパウンド

自社製品比率の拡大と
注力分野への取り組み強化
(モビリティ、情報通信、デジタルデバイス等)

受託製品
マスターバッチ
コンパウンド

製品構成の見直しと生産効率化

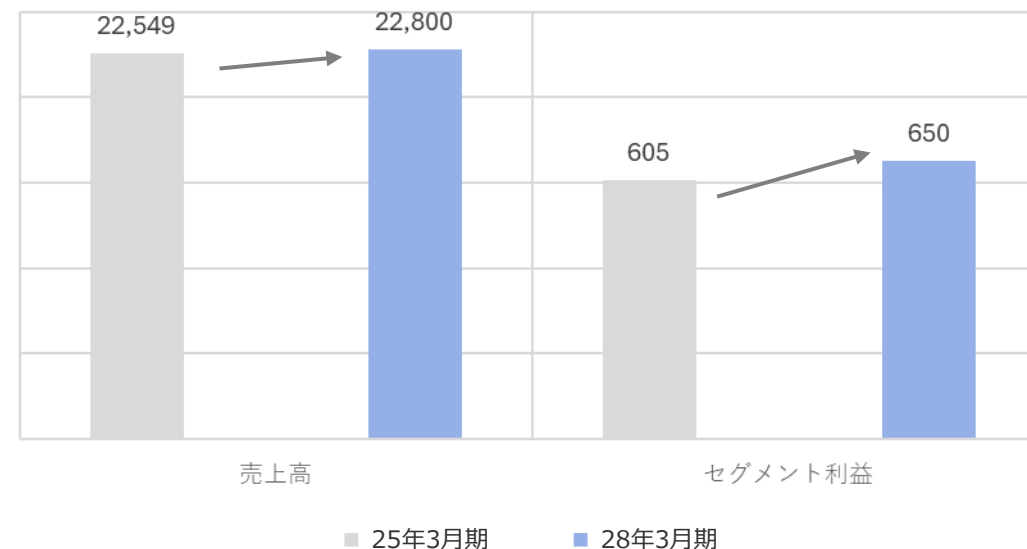
海外（タイ）

ASEAN地域における販売推進

■事業環境

- 国内自動車生産は堅調に推移
- 鮮度保持やモノマテリアル対応等の高機能品やリサイクル対応製品の潜在的ニーズの高まり
- ASEAN地域の経済成長に伴うプラスチック製消耗材の市場拡大継続
- 一般包材、汎用製品向け着色市場や農業用途は環境対応の加速化による市場縮小継続

(単位) 百万円



「食の安全を支える」 機能性包材用途を中心とした高付加価値製品の販売強化により収益の拡大を目指す

- | | |
|------------|---|
| ● 機能性包材用途 | 食品包装等のサステナブル対応ニーズ、高付加価値製品等の増加による増収・増益 |
| ● 自動車用途 | 内外装向けの安定需要に加え、高機能・高意匠製品の増加による増収 |
| ● 一般包材用途 | サステナブル対応ニーズの高まりから環境規制強化が進み、市場は縮小傾向、減収 |
| ● 農業用途 | 人口減による市場縮小の影響を受ける一方で、生分解性製品などのサステナブル対応製品の拡大 |
| ● その他汎用品用途 | 環境規制の強化に伴うプラスチック製消耗品の需要減少により減収 |

課題と施策

- 一般包材市場縮小に対して、環境負荷低減や社会課題解決等に寄与する機能性包材用途マスターバッチのニーズを捉え、拡販を進める
- 農業用途等、縮小する市場に対して生分解性製品等の特長的な製品を展開することで、一定の収益を確保する
- 機能性包材の展開は多品種・小ロット化が進むと予測されるため、多様な製品や受注サイズに対応する柔軟な生産体制を構築する
- 生産コストの削減に向けた自動化・効率化を推進していく



各製品セグメントの成長・改善により収益拡大を目指す

強み

加工品事業

- 幅広い顧客ニーズへの対応力
- ジオセルの工法開発力

■事業環境

ネトロン®

水処理用資材において、世界的な水需要の拡大が継続

一軸延伸フィルム

汎用用途の市場は縮小するも、一軸延伸フィルムの特長（形状保持性、直進カット性等）を活かせる食品用途や産業用途で一定の需要継続

土木資材

国策としての国土強靱化計画を背景に防災・減災需要増加継続

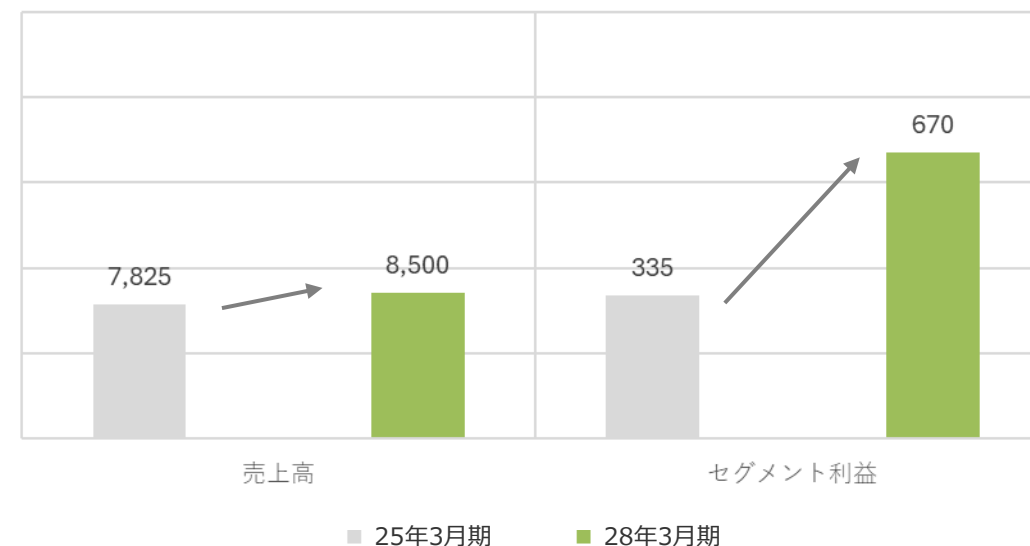
農業資材

日本国内の農業市場は縮小傾向も合理化に貢献する遮熱・保温等の機能性農業資材のニーズは引き続き上昇

戦略

ネトロン® 工材・包材	既存製品の収益向上と新規市場開拓
一軸延伸フィルム	食品包装および産業用途展開による収益拡大
土木資材	ジオセル販売の加速
農業資材	エナジーシリーズ販売拡大 (エナジーキーパー®、エナジークロス®)

(単位) 百万円



「インフラを強靱化する軽くて強い」 ジオセルの販売強化により事業規模拡大を目指す

(技術、生産、設計、施工指導までの一貫対応による独自ビジネスモデルを展開)

- ジオセル 国土強靱化計画に沿った、擁壁、地盤向け等の注力分野へのジオセル工法提案により事業を拡大
- 周辺部材 ジオセル工法の新規工法開発や既存工法のブラッシュアップに必要な周辺部材の拡充
- その他 ジオセル工法以外の一般土木製品において一定の売上を確保

課題と施策

- 災害復興に寄与し、実績豊富な既存のジオセル工法の更なる新規市場開拓に向け、提案力を強化する
- 国土交通省のNETIS認定が獲得できる高付加価値な新規工法開発に向け、マーケティングを強化する

NETIS（新技術情報提供システム）：国土交通省によって運営されている民間企業等により開発された新技術に係る情報を共有および提供するためのデータベース。より優れた技術であると認められると、「有用な新技術」に認定される。



環境負荷低減製品

バイオマス材料の活用

動植物から生まれた再生可能な有機資源のことであり、これらの材料を積極的に採用することで炭酸ガス排出抑制および石化資源使用削減に貢献します。

ライスインキ

PULPTECC/LAMITECC

非食用部分の米ぬか原油を利用した環境調和型グラビアインキです。

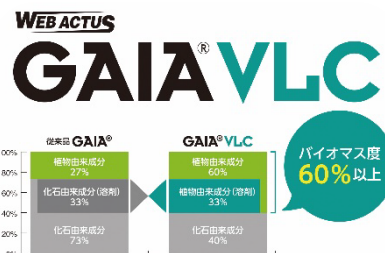
米ぬか原油は、日本が誇る自給率100%（食用）の米を使用した唯一の国産バイオマス原料です。



高バイオマスオフ輪インキ

ウェブアクタス ガイア® VLC

乾燥性能面からバイオマス度を上げることが困難だったオフセット輪転インキにおいてバイオマス度60%以上を実現、オフ輪印刷の乾燥工程で排出されるCO2の100%カーボンニュートラル化に成功しました。



リサイクル・生分解・モノマテリアル

3Rに加え海洋プラスチックごみ削減など環境対応が求められています。合成樹脂に練り込む機能性添加剤、グラビアで印刷するコーティング剤の両面でリサイクル、モノマテリアルのニーズに応え、生分解樹脂の普及も促進します。

生分解性樹脂用マスターバッチ パウダーレジン

最終的に水と二酸化炭素に分解される特徴を有しているため、プラスチックゴミの削減に繋がることから、市場は拡大傾向です。

海洋プラスチックごみ問題の解決に向けた団体CLOMA（Japan Clean Ocean Material Alliance）に加盟しています。

リサイクル成形加工助剤／
マテリアルリサイクル用 相容剤マスターバッチ

リサイクル合成樹脂の成形時の熱劣化による焼けや変色を抑制、加工性を向上させる添加剤、マテリアルリサイクル時に異なる樹脂同士の相容性を向上させる添加剤などを開発、再生プラスチックの使用を促進します。

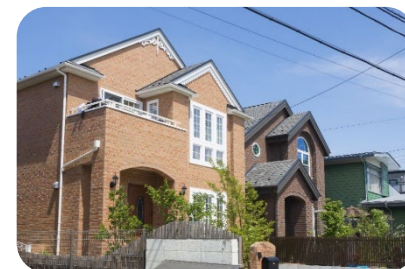


省エネ・省力化の推進

材料・配合設計における環境負荷軽減に加え、顧客ニーズに応える省人化・省エネに貢献する製品の提案をシステムと合わせて提案します。

産業用インクジェットインク

TIC-JET®



社会貢献製品

自然災害対策

地球規模で進む気候変動に伴い、防災、減災のニーズが高まっています。また、負荷が少なく、短い工期で済む工法が要望されています。永年培った合成樹脂の技術を生かし、各種土木資材を工法と合わせ提案しています。

ジオセル（グランドセル®／テラセル®）
のり面保護工法

のり面に設置し、中詰材を充填することで、のり面の浸食対策と緑化の両立が可能になります。コンクリートを使用する工法に比べ、軽量であるため搬送の負荷が軽減でき、CO2排出の低減に貢献、施工性にも優れています。



工事名：三陸鉄道南リアス線盛・吉浜間災害復旧工事

暮らしの安心・安全

フィルムに鮮度保持、紫外線吸収などの機能性を付与し、食品の賞味期限を延長、食品ロス削減に貢献しています。

また、抗ウイルス、抗菌性を合成樹脂の添加剤、コーティング剤の両面から提案します。医療用グレードの材料も取扱い、機能性資材で広く社会に貢献します。

抗菌・抗カビ・抗ウイルス
グラビアコーティング剤 抗菌ニスSCP

感染症防止のニーズに応え、機能性を付与する各種製品を開発しました。グラビアコーティング剤はSIAAマーク表示基準に適合しています。抗菌ニスSCPは廃棄されていたホタテ貝殻由来の抗菌剤を使用し、抗菌剤マスターバッチは合成樹脂に安全性が高い銀系無機物を練り込み、細菌の増殖を抑制しています。

鮮度保持剤マスターバッチ／
紫外線吸収剤マスターバッチ

生鮮野菜や青果物から放出される炭酸ガス、水分、エチレングスをフィルムに吸着させ、長時間にわたり青果物の鮮度を保持したり、フィルムに紫外線カット機能を付与させることで、食品の賞味期限を延長、食品ロスの低減に貢献します。



各種機能性

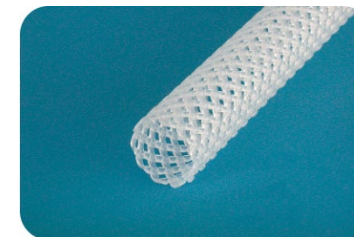
水資源、農業資材から放射線測定樹脂に至るまで、社会貢献製品の分野は多岐にわたります。

社会のニーズの変化に合わせ、持続可能な社会の実現に向け開発を進めます。

EKエナジーキーパー®



水処理用資材



- ・製品販売価格改定が進捗し、売上高468億円（前年比＋6.6％）で着地
- ・営業利益13.0億円（同＋70.3％）、当期純利益11.8億円（同＋33.9％）と大幅増益

	24年3月期	25年3月期	前年比 増減額	前年比 増減率	コメント
売上高	43,922	46,806	+2,884	+6.6%	・各事業の製品販売価格改定の進捗により、前年比増収増益
営業利益	768	1,309	+540	+70.3%	
経常利益	986	705	▲281	▲ 28.5%	・米国連結子会社が出資する持株会社の出資先において先行投資による一時的な業績悪化を受けたことから、のれん相当額の回収見込みを精査した結果、出資金運用損を営業外費用に計上し、前年比減益
親会社株主に帰属する 当期純利益	881	1,180	+298	+33.9%	・政策保有株式の縮減に伴う有価証券売却益や連結子会社の火災保険金の計上等により、前年比増益

- ・主力製品の市況回復、高付加価値製品へのシフトおよび製品販売価格改定が進捗し、売上高120億円（前年同四半期比＋9.4％）で増収
- ・営業利益5.6億円（同＋273.1％）、四半期純利益4.4億円（同＋173.0％）と大幅増益

	25年3月期1Q 24/6	26年3月期1Q 25/6	増減額	増減率	コメント
売上高	10,993	12,027	+1,034	+9.4%	・主力製品の市況回復による販売数量増加および、事業ポートフォリオ見直しに伴う高付加価値製品へのシフト、各事業の製品販売価格改定の進捗により、前年同四半期比増収増益
営業利益	152	567	+415	+273.1%	
経常利益	222	660	+437	+196.5%	・前期営業外費用に計上していた米国連結子会社の出資金運用損が無くなったことにより、前年同四半期比増益
親会社株主に帰属する 四半期純利益	164	448	+284	+173.0%	

2026年3月期 第2四半期（中間期）および通期の連結業績予想（2025年5月13日公表）を上方修正

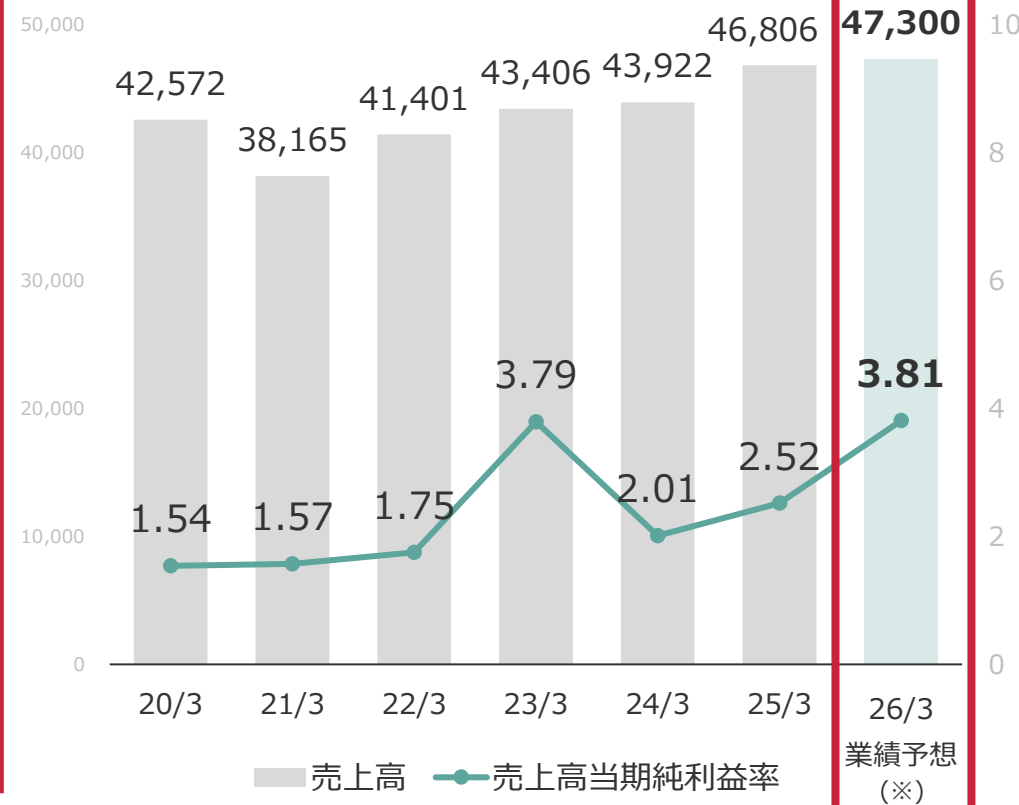
26年3月期 当初業績予想
(25年5月13日公表値)

	第2四半期 (中間期) A	通期 B
売上高	22,800	46,000
営業利益	550	1,300
経常利益	630	1,450
親会社株主に 帰属する 当期純利益	510	1,300

26年3月期 修正業績予想
(25年8月5日公表値)

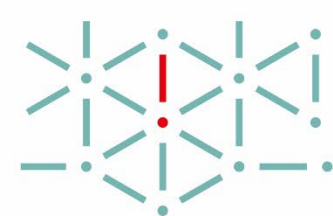
第2四半期 (中間期) C	増減額 C-A	通期 D	増減額 D-B
24,100	+1,300	47,300	+1,300
1,060	+510	1,800	+500
1,150	+520	1,950	+500
800	+290	1,800	+500

売上高・売上高当期純利益率 推移



上記業績予想は25年8月5日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の実績等は、様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

事業	製品名称	説明文
インキ	オフセットインキ (平版インキ)	オフセット印刷用インキ。印刷方式として、輪転、枚葉、新聞輪転等があり、インキタイプとして、油性、水性、UV硬化型、水無し等がある。
	グラビアインキ (凹版インキ)	凹版印刷の一種であるグラビア印刷用インキ。印刷方式として、表刷り、裏刷り等があり、インキタイプとして、溶剤、ノントルエン、水性等がある。また、印刷物に色ではなく機能（酸化防止等）を付与するコート剤（ニス）もある。
	インクジェットインク (デジタルインキ)	版を持たないデジタル印刷の一種であるインクジェット印刷用インク。主に家庭向け、産業向け等がある。インクタイプは染料、顔料等がある。当社はカスタムメイドインクジェットTIC-JET®を展開。
化成品	マスターバッチ	顔料等を分散させた高濃度のプラスチックペレット。使用時はナチュラル（原料）樹脂に対し、3～10%程度希釈するのが一般的。着色剤のほかに機能（酸化防止等）を付与する添加剤等がある。
	コンパウンド	ナチュラル（原料）樹脂に顔料、添加剤等を混ぜ合わせ、必要な物性、機能を持たせたもの。マスターバッチと異なり、希釈せずに使用する。
加工品	ネトロン®	高密度ポリエチレンを網状に成形したプラスチック製品。三井化学株式会社の登録商標。工業用途と包装用途で展開している。水処理用資材は工業用途の主要製品。
	一軸延伸フィルム	高密度ポリエチレンを主とした縦一軸延伸フィルムで、高い形状保持性、縦方向の強度及び直進カット性に優れ、さらに高い透明性と光沢性も兼ね備えたフィルム。食品包装、産業用途等に使用される。
	ジオセル工法	土木資材の主要工法。主にジオセルと周辺部材を組み合わせたジオセル工法を提供。コンクリート工法と比べ、軽量であるため輸送効率が良く、施工が簡単であるため熟練工を必要としない。一部の工法は国土交通省のNETIS（新技術情報提供システム）に登録済。
	ジオセル	高密度ポリエチレンを立体形成した、ハニカム状土壌安定材の総称。当社製品名はテラセル®、グランドセル®がある。
	周辺部材	ジオセル工法の強度を向上させるための接続部材や摩擦を補助する用心杭等。
	エナジーシリーズ	農業資材の主要製品。優れた保温保冷効果を有する多層断熱被覆資材（布団資材）『エナジーキーパー®』、優れた保温性、軽量でしなやか、適度な湿度コントロールができる内張カーテンである『エナジークロス®』等をラインナップ。



事業	製品例	主な効果
インキ	高バイオマスオフ輪インキ	インキ中の植物由来溶剤（バイオマス成分）の比率を高めたオフセットインキ。乾燥工程時のGHG排出量削減に貢献。
	ライスインキ	米ぬか油の非食用部分（バイオマス成分）を使用したグラビアインキ。GHG排出量削減に貢献。
	機能性グラビアインキ・コート剤	印刷物にガスバリア性等の機能を付与するために使用される製品。内容物の劣化を防止することでフードロスなど廃棄物削減に貢献。
	産業用インクジェットインク	版を必要としないバリアブル印刷に使用される製品。廃棄物削減に貢献。
化成品	鮮度保持剤マスターバッチ	フィルム製膜時にガスバリア性等の機能を付与するために使用される製品。内容物の劣化を防止することでフードロス等の廃棄物削減に貢献。
	生分解性樹脂用製品	一定期間で分解される生分解性樹脂を材料に使用した製品。農業用フィルム等を使用され、廃棄物削減に貢献。
	加工助剤マスターバッチ	プラスチック成形時に添加することで、品質の安定に寄与する製品。廃棄物の削減に貢献。
	液状マスターバッチ	ペレット状マスターバッチと比べ低温で製造される製品。エネルギー使用量削減に貢献。
加工品	ジオセル各工法	コンクリート工法と比べ軽量であり、施工時に重機を必要としない工法。輸送時のエネルギー削減や、災害による被害の防止・減少に貢献。
	ジオセル各工法周辺部材	
	水処理用資材	水処理用の部材として使用される製品。枯渇資源である水資源確保に貢献。
	機能性農業資材エナジーキーパー	高い断熱性を有する製品。農業ハウスの冷暖房の燃料使用量削減に貢献。

東京インキホームページ

<https://www.tokyoink.co.jp/>

長期ビジョン説明会動画「TOKYOink Vision 2030」

<https://www.net-presentations.com/4635/20231211/bepq1a/>

2025年3月期決算および中期経営計画「TOKYOink 2027」説明会動画

<https://www.net-presentations.com/4635/20250606/afi3ksoog/>

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（アップデート） 説明資料

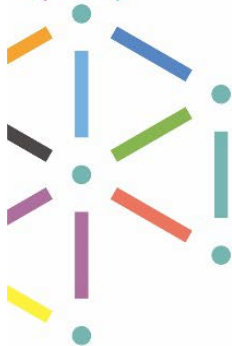
<https://x.gd/SdhB4>

東京インキグループ 2025 統合報告書

<https://www.tokyoink.co.jp/ir/news/detail/20250905141030.html>

東京インキ(株)公式X（旧Twitter）アカウント：東京インキ株式会社 @tokyoink_1923

- 本資料は、投資家の皆様に会社内容の理解を深めて頂くための資料であり、投資勧誘を目的としたものではありません。
 - 記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
- また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。
投資に関する決定は、ご自身のご判断と責任において行われるようお願いいたします。



【お問合せ先】 東京インキホームページお問い合わせフォーム
<https://www.tokyoink.co.jp/contact/>



東京インキ株式会社 管理部門 IRチーム
TEL : 03-5902-7652
E-mail : tic-ir@tokyoink.co.jp

